



各位

J A三井リース株式会社  
J A三井リースオート株式会社  
J A三井ストラテジックパートナーズ株式会社

## 株式会社電知との資本業務提携について

～サーキュラーエコノミー実現に向け、バッテリー診断技術を有する企業の事業展開を支援～

J A三井リース株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：新分敬人）およびJ A三井リースオート株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：鈴木章洋）は、グループ会社であるJ A三井ストラテジックパートナーズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：滝田尚吾）（以下総称して「J A三井リースグループ」）を通じて、バッテリー診断技術を有する株式会社電知（本社：埼玉県本庄市、代表取締役：向山大吉、以下「電知」）と資本業務提携を行いましたので、下記の通りお知らせいたします。

## 記

### 1. 出資の背景・目的

世界的な電動化の進展により、電動車（EV：電気自動車、HV：ハイブリッド車）に限らず、産業機械、農業機器、建設機械、家庭用電化製品に至るまで、電池産業は急速に拡大しています。一方で、電池のライフサイクル管理や再利用・リサイクルの最適化、安全性の確保は、持続可能な社会の実現に向けた重要課題となっています。

これまで電知とは、電動車のバッテリー診断・放電サービス（[2025/11/17プレスリリース](#)）やEV コンバージョントラックのバッテリー診断に関する共同実証（[2026/1/15 プレスリリース](#)）で連携を重ねてきました。今回の資本業務提携により、電知が有する診断・放電技術と、J A三井リースグループのソリューション・営業基盤・顧客ネットワークを組み合わせ、技術の実用化および普及を共同で推進します。これにより、EV・HVなど次世代モビリティの普及促進にとどまらず、リユース・リパーパスの仕組み構築によるサーキュラーエコノミーの推進、電池産業のさらなる発展と市場拡大、そして持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

J A三井リースグループは、中期経営計画「Sustainable Evolution 2028」において、長期ビジョン（ありたい姿）として「社会課題を顧客やパートナーと共に解決し、社員の成長を通じ持続可能な社会に貢献する企業グループ」を掲げ、金融の枠組みを超えたパートナーシップを拡大しています。これまでに培ってきた知見・ノウハウ・ネットワークを活かして資本提供に取り組むことにより、社会・企業が抱える課題の解消や、お客様・パートナーの利便性向上を実現してまいります。



# News Release

## 2. 電知概要

電知は、AI（人工知能）と独自の非破壊診断技術 SCI 法\*を活用し、電動車などの電池の安全性や寿命を評価するサービス「denchi.ai」を開発しています。特徴は、「どこでも(持ち運び可能)」「素早く(約1~2分)」「正確に(科学的根拠)」電池診断が可能な点にあります。

また、独自の放電技術により、小型家電をはじめとしたバッテリー製品の発火リスクを低減する取組みも行っています。こうした技術により電池の価値や状態を可視化＝「電池を正しく知る」ことで、バッテリーバリューチェーンにおけるサーキュラーエコノミーの実現を目指しています。

\* SCI法：Step Current Impedance の略。従来の電気化学インピーダンス(EIS)法を基本とした電知独自の応用技術。システム設計が容易であり、短時間かつ低コストで電池内部の状態を測定できる点が特徴。

社名	株式会社電知
本社所在地	埼玉県本庄市西富田 1011
設立日	2020年7月17日
代表者	代表取締役 向山大吉
事業内容	リチウムイオン電池やニッケル水素電池等の二次電池製品に関わる ・計測ソフトウェアおよびシステムの開発と販売 ・計測ソフトウェア・システムに関わる装置及び周辺機器の開発、製造及び販売 ・蓄電池の非破壊状態評価手法による故障・余寿命診断の AI をベースとしたクラウドサービス
URL	<a href="https://denchi.ai/">https://denchi.ai/</a>

### 電知診断機器一例(denchi.ai ™)



電知診断機器一例

### 電知クラウドサービス(denchi.ai ™) 診断可能項目

- **構造反応性**  
電池やパックの構造や配線・回路設計等の経年による構造的な変化を評価。
- **充電性能**  
充電時における電池の受け入れ性能を示す指標。急速充電速度に影響します。
- **未劣化性**  
使用履歴による電池(電極反応)の劣化度合いを示す指標。
- **駆動性**  
アクセル踏み込み量に応じた加速や回生に関わる指標。ドライバビリティに影響。
- **電池容量**  
現在の電池容量に関わる指標。航続距離に影響。



※現段階での診断結果イメージとなります

電知クラウドサービス診断可能項目

### 【関連する SDGs】



以上

### 【本件に関するお問い合わせ先】

J A 三井リース株式会社 経営管理部 コーポレートコミュニケーション室

電話：03-6775-3002 MAIL：[JAMLDG1114@jamitsuilease.co.jp](mailto:JAMLDG1114@jamitsuilease.co.jp)